

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. これからの公園について</p> <p><b>【質問趣旨】</b></p> <p>近年まで、日本では人口増加に合わせて公園を増やすことを目的に、法整備を行っていましたが、人口減少社会を迎えるなかで、「今後の公園のあり方」が問われるようになってきました。</p> <p>本市においては、このような変化に対応していくため、令和2年3月に瀬戸市緑の基本計画の改訂を行い、今後の公園施策について、このなかで明らかにされています。</p> <p>改訂にあたり実施した市民アンケートでは、「気になること、不安・不満に感じること」として、</p> <p style="text-align: center;">(次ページへ)</p>	<p>(1) 瀬戸市緑の基本計画(令和2年度～令和11年度)における、重点施策のうち、都市公園等の再構築について</p>	<p>① 本市の今後の公園施策の方向性については、令和2年3月に策定した「瀬戸市緑の基本計画」のなかで示しています。これは、国の「新たな時代の都市マネジメントに対応した都市公園等のあり方検討会」での議論を参考にして作成されているのか、また、その場合どのような考え方を参考にして作成したのか伺います。</p> <p>② 本計画のなかで、『本市が重点的に取り組むべき都市公園等の「再構築」と「管理・運営」に関する施策を「重点施策」として位置付け、施策を推進していきます』とありますが、計画期間である令和11年度までの施策展開のスケジュールはどのようなか伺います。</p> <p>③ 具体的施策として「公園不足地域を優先した公園の整備」を挙げていますが、どのエリアを公園不足地域と認識しているのか伺います。</p> <p>④ 上記、新規整備に際しては、どの程度の規模の公園を想定し、用地をどのように確保していく予定なのか伺います。</p> <p>⑤ 同じく「配置バランスを考慮した公園の統廃合」を挙げていますが、これを実行するためには、対象となる公園の利用状況や機能の重複などを、エビデンスとして市民に示したうえで、丁寧な説明、合意形成が重要と考えますが、見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>「手入れが行き届いていない公園などの存在」が45%、公園の利用に関して、大きな公園、身近な公園とも、「ほとんど利用しない」が60%以上、数と質に関する質問でも、数よりも質に不満が多い傾向にあります。</p> <p>つまり、今後の公園は、「量より質」が問われる時代を迎えていると言えます。</p> <p>今回は、瀬戸市緑の基本計画のうち、特に市民からの関心が高い「公園」に特化して伺っていきます。</p>	<p>(2) 瀬戸市緑の基本計画(令和2年度～令和11年度)における、重点施策のうち、都市公園等の管理・運営について</p>	<p>⑥ 「地域ニーズに応じた機能の創出」では、『公園の機能再編を検討する。子どもたちが安全に遊べる機能の確保を基本とし、多世代が利用できる公園となるように、地域ニーズに応じた新たな機能の創出について検討する。市民参加のワークショップなどの導入を検討する』とありますが、ポイントはいかに幅広い世代の声を拾っていただけるか、幅広い世代がいかに他の世代を思いやって合意形成を図っていただけるかであると考えます。幅広い世代の地域ニーズをどのように集めるのか、具体策を伺います。</p> <p>① 「予防保全型の公園施設の管理」について、『従来の不具合が生じてから修繕を行う「事後保全」から、予防的な修繕を実施することで機能の保持・回復を図る「予防保全」に切り替えていく』としていますが、本市の現状をどう捉えているのか伺います。</p> <p>② 「市民・事業者などとの連携による公園の管理」について、都市公園以外のいわゆる小さい公園の日常管理は、地域にお願いをしていますが、担い手不足・特定の方への負担集中・地域住民がそもそも日常管理をお願いされていることも知らないなどの問題が内在しています。市民との連携をより具現化しようとしたとき、公園再編に向けた合意形成のプロセスは、市民の当事者意識醸成の契機になると考えますが、見解を伺います。</p>

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>③ 同上、事業者などとの連携について、NPO法人などの市民団体、商店街、事業者などを例示していますが、障害者の就労支援という視点も含まれているのか伺います。</p> <p>④ 同上、公園へのトイレの設置については、望まれる声が多いものの、犯罪の温床となるなど防犯性の課題や、臭気の問題、日頃の清掃、点検、ペーパー取り替えなど、いわゆる日常管理が適切に行えるかどうかを極めて大きなポイントであると考えます。公園の再編（新規整備や統廃合）とその後の管理について、市民と行政とが合意形成を図るうえで、公園のトイレ設置の是非については、必要な検討課題かと考えますがどのようなか伺います。</p> <p>⑤ 「民間活力を導入した運営管理の検討」について、『民間事業者などの活力を導入して都市公園等の質や魅力を高めるために、設置管理許可制度や公募設置管理制度（Park-PFI）などの制度の導入を検討します』とありますが、現在の検討状況と、Park-PFI の検討対象となっている公園はどこか伺います。</p> <p>⑥ Park-PFI は、活用方法によっては、その都市公園の質や魅力向上のみならず、街全体の魅力向上や課題解決に寄与する事例もあります。都市公園内にカフェやレストランを設置する事例が多いですが、保育所や放課後児童クラブ、デイサービスや障害者支援施設など社会福祉施設も設置可能であり、事例も複数あります。ニーズ調査やサウンディング調査も必要ですが、例えば健康福祉部と連携するなど、全庁的に制度活用案を募ることも有効かと考えますが、見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3) 計画を前進させるために必要な関係施策について	<p>① 瀬戸市宅地開発等に関する指導要綱について、本要綱では、事業区域の面積が3,000 m<sup>2</sup>以上の宅地開発等を行う場合に、公園の設置とその公園の市への無償提供を求めています。(事業区域面積3,000 m<sup>2</sup>以上10,000 m<sup>2</sup>未満では3%に相当する面積以上、最低面積120 m<sup>2</sup>以上)</p> <p>しかし、国の方針・瀬戸市緑の基本計画の方針においても、狭小公園を増やしていくことを是としていないことが読み取れること、2016年の都市計画法施行令改正により、従来の最低面積3,000 m<sup>2</sup>から10,000 m<sup>2</sup>にできる緩和規定が設けられたことから、本市の宅地開発における公園設置基準も、本市の今後の公園の方針に見合ったものに変えていく必要があると考えますが、見解を伺います。</p> <p>② 瀬戸市宅地開発等技術基準において、標準的な公園施設の参考例を示していますが、ブランコや滑り台など、各公園に同一性を求めるような内容になっています。本市では、「地域ニーズに応じた機能の創出」を具体的施策としていることから、それを可能とする運用にしていく必要があると考えますが、見解を伺います。</p> <p>③ 本計画及び瀬戸市都市計画マスタープランにおいて、磁祖公園については、その活用方策、整備計画の見直しを図るとしています。都市計画決定されている面積は12.1haですが、現在供用されているのは、窯神グラウンド部分の1.5haとなっており、整備率は12.4%と低い状況にあります。瀬戸市都市計画マスタープラン策定から4年目を迎えていますが、磁祖公園全体の整備計画の見直し状況について伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>④ 磁祖公園整備に関しての大きな課題は、市街地付近に位置し、駅や本市の観光資源が周辺にありながらも、車でのアクセスのしにくさにあると考えます。隣接する都市計画道路の陣屋線・本山線の整備促進は、磁祖公園内の窯神グラウンドが指定緊急避難場所に指定されていることから、磁祖公園へのアクセスの利便性の確保はもとより、災害時の交通ネットワーク形成にも資すると思いますが、見解を伺います。</p> <p>⑤ 本計画のなかで、「学校跡地を活用した新たな緑の創出」として、『新たな緑の空間を創出する場としての活用についても検討します』としていますが、小学校跡地の公園活用について、同計画における「公園不足地域を優先した公園の整備」「配置バランスを考慮した公園の統廃合」「地域ニーズに応じた機能の創出」という観点において、どのように捉えているのか伺います。</p> <p>⑥ 小学校跡地の公園活用は、地域住民の認知度、地域の避難所機能の継続、行政としての財政負担、公共性の確保という観点においても、一つの軸となる有効な手段だと考えますが、見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(4) 計画実現に向けた今後の進め方について	<p>① 本市では、今後の公園について、前述のとおり瀬戸市緑の基本計画において令和11年度までの方針、具体的施策までを定めていますが、今後いつまでにどのように進めて行くのかは示されていません。名古屋市では、「なごや緑の基本計画2020」(現在は2030)のなかで、公園経営のあり方を整理し、翌年に名古屋市公園経営基本方針のなかで、基本的な方向性を決めました。その翌年に名古屋市公園経営事業展開プランのなかで、各戦略の10年間の行程表を示しました。本市においては、今後どのように市民に計画実現までのロードマップを示していくのか伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>2. 自治体DX推進のための庁内体制について</p> <p><b>【質問趣旨】</b> 本市では、国・県の自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）推進の計画を受け、瀬戸市DXとして、重点取組事項とそのロードマップを示しています。 これらを着実に推進していくことは、行政サービスの向上・市民生活の利便性向上はもとより、行政事務効率化・働き方改革にも繋がります。 しかしながら、庁内の体制としては、まだ不十分と考えることから、その体制作りの必要性について、端的に伺っていきます。</p>	<p>(1) 情報政策課の現体制について</p> <p>(2) 自治体DX推進の過渡期はいつ頃か</p> <p>(3) 自治体DXを推進するためにどのような体制が必要か</p>	<p>① 本市では、情報システムやイントラネットの管理運用や各種データの管理などの基幹業務と、ICT活用や官民データ活用やDRPCに関することなどの企画系の業務と合わせて、情報政策課が所管していますが、この現体制になった経緯を伺います。</p> <p>② 公的機関のデジタル化の遅れは、コロナ禍によってより鮮明になり、自治体DX推進が国を挙げて急務とされ、県においても、あいちDX推進プラン2025が策定され、本市においても、同じ方向性で進んでいます。自治体DXが急務となって以降、情報政策課の人員体制に変化はあったのか伺います。</p> <p>① 本市では、瀬戸市DX重点取組み事項のロードマップ（令和3～4年度）を示していますが、本市における自治体DX推進の過渡期はいつ頃までと考えているか、つまり令和4年度で過渡期は終わると考えているのか伺います。</p> <p>① 各種災害や今回のコロナ禍など、一時的・突発的な事案に対しては、全庁を挙げた一時的な応援体制を組む必要があります。 自治体DXのように、急務とされながらも数年単位で推し進める時期が明確な場合は、そこに対してしっかりと必要な「期間」に、必要な「人員」と、必要な「予算」を充てるべきだと考えますが、見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。